



特集

けいざんぜんじ  
瑩山禅師ものがたり ⑭



加賀の大乗寺から能登の永光寺へ

瑩山さまは終焉の地を求めて移られます

それは夢から始まった

一三二一年、瑩山さまは加賀にお父様のために浄住寺を開かれました。

翌年、海野三郎ご夫妻から、山と谷からなる寺域を寄進されました。夫人が地頭の酒匂頼親様の娘というご縁もありました。瑩山さまが四十九歳の春のことでした。その前の年、瑩山さまは海野ご夫妻に招かれてご夫妻の館にお泊りになりました。その夜、瑩山さまは夢を見られたのです。——山頂に登ると眺望が広がっています、そこに大きな寺院が現れます。門前には榎の大木が葉を広げています。諸国から続々と修行僧が集まり、破れわらじを大木の

枝にかけ、身だしなみを整えて山門に入つてゆく——そんな夢です。

瑩山さまは思われました。「自分がこの山に住めば、大勢の修行僧が全国各地からやって来るといってお告げに違いない」。翌年、その地を訪れてみると、果たして榎の大木が天高く枝を伸ばしています。「夢は正夢、この地にお寺を創れば必ず栄える」。その確信とともに永光寺は始まったのです。

能登に永光寺を開く

ご夫妻の何の代償も求めない清らかな志に心を打たれた瑩山さまは、この永光寺の地を隠棲の地、終焉の地と定められ

No. 69  
2023 Summer

がんしょうざん  
含松山  
臨南寺

海野夫人から祖忍尼へ

ました。「洞谷山永光寺」という寺名にも瑩山さまの思いがあらわれています。中国曹洞宗の祖とされる洞山禅師を慕って山号を「洞谷山」とされ、中国曹洞宗を隆盛に導いた大陽禅師を慕って「永光寺」と名付けられたのです。

一三一三年、まず、この地に仮の庫裏が建てられました。

一三二七年、海野夫人の兄にあたる酒匂頼基様も、お父様の頼親様の屋敷を瑩山さまに寄進されました。その屋敷を境内に移して方丈が建立されました。

瑩山さまは方丈の完成とともに、大乗寺の第三代住職を明峰さまに正式に譲られ、永光寺の住持職に専念されています。

その年の十月には、修行僧を大乗寺から呼び寄せ、入院の儀式を執り行い、永光寺で初めて冬安居が行われました。十月十六日から翌年の一月十五日まで三月の間、外出することなく、寺にこもって修行に専念、ひたすら坐禅に打ち込みます。安居が終わると修行僧たちは全国各地へ旅立つてゆくのです。

一三二四年、瑩山さまを観世音菩薩に引き合わせ、信仰への扉を開かれたお母様の懐観大姉さまがお亡くなりになりました。

享年八十七歳、まさに大往生と言えます。その知らせを受けた瑩山さまは、永光寺の境内にお堂をお建てになり、十二面観音さまをおまつりしていつも礼拝されていました。

それから五年の月日が流れました。夫の海野三郎を亡くした夫人が瑩山さまを訪ねてこられました。

「瑩山さま、お願いがございます」

「さてどのようなことでしょうか」

「どうか私を禅師さまのお弟子にしてください」

「おお、出家されると申されるか。不思議なことがあるものじゃ。昨夜も八歳の私を永平寺に導いてくれた祖母の明智の夢を見ましたが、あなたを見ていると祖母の再来のようで懐かしい」

「もったいないお言葉じゃ」

夫人はこうして瑩山さまのもとで出家し、「祖忍尼」となりました。

永光寺の開基でもある祖忍尼のお話はもう少し続きますが、それは次回といたしまししょう。

新盆や ひそかに草の やどす露 久保田万太郎

## 八月はお盆、

## 九月はお彼岸の季節です



### お盆行持は

臨南寺のお盆は、八月十日、十一日のお墓経から始まります。

十二日には、本堂前の広場で「弁財天万灯会」を開きます。灯籠に願い事を書いて、弁天様に献灯いたしましょう。ご先祖様や亡き人へのお盆の供養にもなります。十六日には、盂蘭盆会施食会を修行します。亡き人やご先祖様など、各家にゆかりの精霊をご回向させていただきますのでお参りください。

### お彼岸行持は

九月二十二日、二十三日にお彼岸のお墓経を行います。

二十六日には、彼岸会施食会の法要を行います。お彼岸はご自分の生き方を見直し、ご先祖様に感

謝をささげる大切な期間です。彼岸会にお参りいただき、ご先祖様に手を合わせましょう。

ご都合が悪い方は、いずれの行持も不参にてお受けしますので、お問い合せください。

ご来寺の際は、各自の判断で感染防止対策をお願いいたします。



8月12日、本堂前は献灯が揺れて幻想的な雰囲気になる

## よろしくお願いいたします

今年の四月より勤めております、静岡県藤枝市出身の福島賢良と申します。

大学を卒業後、平成二十八年より今年の一月まで横浜の大本山總持寺にて修行させていただきました。

お寺の生まれでありながら無知であつた私にとって、總持寺での修行生活は厳しいものでしたが、自分の中で気づかされる事が多くとても有難いものでした。

本山に上山して二年目、私は典座寮におりました。朝早く起きて、お粥を作るなど修行僧の食事や参詣者の方の御膳をお作りしておりました。料理の経験はほとんどなく、慣れない生活ということもあり、余裕のなかつた私は周りも見えず、自分の事ばかり考えておりました。そのような時に典座老師より「自未得度先他」という言葉を教えていただきました。この言葉は曹洞宗を開かれた道元禪師様の著書「正法眼蔵」発菩提心の巻に述べられている言葉であり、「修証義」第四章発願利生にもあります。簡単



福島賢良

な意味としては「菩提心を発すにはまず他の人を助けること、幸せにすることを願うことである」と述べられております。

この言葉を教えていただいて周りを見渡すと、同じように修行をする同安居の姿が見え、大変なのは自分だけではないことに気づきました。それからは自分のことではなく、他の人のことを考えるようになり、僧侶として視野が広がったと思います。今でもこの時の言葉を大切にし、周りをよく見ることを心掛けています。

今回有難いご縁をいただき臨南寺に来ました。お檀家様や参詣者の皆様に寄り添えるような僧侶でありたいと思います。まだまだ未熟者ですが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

# 「はんにや心響」第二回

## 『品性』

私がまだ副住職のころ、とある法衣店が行商に来た。調子のよい軽快な口調で「なんでもお任せ」という風だった。齢六〇歳を過ぎたベテラン行商、一緒にいた私の師匠や近所のご住職さんにもいわゆるタメ口、私はその態度にイライラしたが抑えて、注文した着物の納期の約束をし、彼は帰った。

数か月後、注文した着物を持って彼が来た。しかし約束した納期が大幅に過ぎたうえ、サイズを間違えていた。それを指摘すると

「私ね、ちゃんと言ったんやけどね、作り手が言ったように作りまへんねん！ えらい手こずりましたわ。しかもあいつらサイズまで間違えるなんて…しようもない。帰ったらちゃんと言いきかせますよつて…」

などと言い謝罪はナシ！ 更には作り手のせいにする態度！ 私は堪忍袋の緒が切れて言いました。

「アンタ、いい加減にせえよ！ ペラペラ調子の良いことば並べて、自分は悪くないんかい？ しかもアンタより年上の老僧を目の前に毎度タメ口つてなんやねん？

それでよく客商売やつとれるなあ？ そんなもんもういらん！ 帰れっ！」  
行商がそそくさと帰ったあと、それまで黙っていた師匠がこう言いました。



山形県酒田市 正常院住職  
成澤祐吾 老師

「お前の態度を傲岸不遜というのだ。偉くなりすぎてはダメだ」

その時は

（はあ？ 師匠のために言ったんですけど？ なんでオレが諭されなきゃいけないんだよ！）

と思いきや余計に腹を立てていました。ビートたけし著『ヒンシユクの達人』にこのような一節があります。

『最近、自分が勝った（正しい）と思った瞬間に、相手をトコトン叩きのめしてやろうという感覚の人間が増えたような気がする。自分の方が有利（上位）だと思った瞬間に居丈高になるんだよね。人間、圧倒的に優位な立場にいるときに、相手にどう振る舞うかで品性みたいなものがわかる』

私は、現在「住職」です。ときに相対する方に強くものを言ってしまうことがある。でもなるべく相手の立場に立つて、僧としての「品性」を損なわないように努力をしている。つい勘違いしてしまふときがあるけれど、どんな苦悩の中でも自己を正して、周囲に優しく生きられるよう努めていきたいものです。

合掌

## 臨南寺行持予定（八月～九月）

### お盆行持

#### お墓経

\*八月十日 午前十時～正午  
\*八月十二日 午後五時～八時

お盆のお墓経を行います。どちらかご都合のよい日にお越しください。塔婆の準備がございますので、必ず事前にご連絡ください。（回向料二万円）

#### 弁財天万灯会（本堂）

\*八月十二日 午後六時～八時

あらゆる願いを叶えてくださる弁財天様に、願いを託して献灯をし、福を授かりましょう。お盆の迎え火としてもご献灯いただけます。（献灯のみ）

#### 孟蘭盆会施食会（本堂）

\*八月十六日 午前九時～十二時半

お盆供養の法要を行います。各家のご先祖様と、ご縁の深い精霊のご供養をいたしましょう。どなたでもご参加いただけます。（回向料二万円）

#### お彼岸行持

#### お墓経

\*九月二十二日 午前十時～午後三時  
\*九月二十三日 午前十時～午後三時

どちらかご都合のよい日にお越しください。塔婆の準備がございますので、必ず事前にご連絡ください。（回向料二万円）

#### 彼岸会施食会（本堂）

\*九月二十六日 午後一時～二時半

お彼岸供養の法要を行います。お彼岸はご先祖様に感謝し、わが身を省みる大事な期間です。ご先祖様をしのび今あることに感謝いたしましょう。どなたでもご参加いただけます。（回向料二万円）

\*なお、中止することや変更する場合もございます。臨南寺の行持については、臨南寺のホームページでご確認いただくか、電話でお問い合わせください。寺務所の電話 ○六・六六九八・二〇〇二（九時～十七時）

早朝坐禅会は九月より時間を変更して再開の予定です。詳しくは臨南寺のホームページをご覧ください。

## 春のマトリ合同法要

### 読経が続く中で

### ご焼香していただきました

五月二十八日（日）午後二時から、がっしょう園マトリの合同法要が営まれました。マトリにご納骨された皆様の法要が執り行われ、読経が続く中でご焼香をしていただきました。

「マトリ」とはサンスクリット語で「お母さん」と。母のふところに抱かれて永遠の安らぎが得られま



がっしょう園マトリの合同法要にはたくさんの方が参られました



## お盆とお彼岸は、車が込み合います

境内の歩道は、徒歩の方や車椅子の方だけでなく、自転車の方もご利用いただけます。

数年前から、当寺院の境内地で人身事故が発生しています。境内での運転は最徐行をお願いします。改善される様子が見られなければ、車両の乗り入れを禁止いたします。

なお、境内地内での事故等につきましては、当寺院では一切の責任を負いません。



この歩道は自転車もご利用ください

## 新しい休憩所をご利用ください



休憩や待ち合わせに休憩所をご利用ください。階段の横にスロープもありますので、車椅子の方も安心してご利用いただけます。

### 編集後記

70歳を過ぎてからがんの手術を受けると、それまで気にもしなかったのに、自分はあと何年生かれるのだろうかと考えてしまう。そこで思ったのは、「死ぬまでは生きていく」。だとしたら生きている間は好きなことをして楽しく生きよう。で、今、温泉とゴルフを楽しんでいます。(M)

「ほ～っと」69号

令和5年7月

編集・発行： 稜伽林「ほ～っと」

編集室

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-32

TEL 06-6698-1001

FAX 06-6697-3330

Eメール：rinnanji@abeam.ocn.ne.jp

ホームページ：http://www.rinnanji.com